

## 発刊によせて



奈良県知事  
柿本善也

奈良先端科学技術大学院大学が、めでたく創立10周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

その間、創設期の大学を育て発展させてこられた櫻井洸初代学長、山田康之第2代学長、並びに、第3代の鳥居宏次学長をはじめ大学関係各位の大変なご尽力に対し、深く敬意を表するものであります。

また、貴大学が、関西文化学術研究都市の中核をなす大学として、奈良県高山地区に創立され、この奈良の地から、我が国のみならず国際社会において、独創的・先端的な学術研究の成果を発表されるとともに、優れた研究者を輩出されていることは、奈良県民としても、大いに誇りとするところであります。

貴大学は、20世紀の最後の10年間を、「情報」「バイオサイエンス」「物質創成」という、まさに最先端の科学を探究され、さらに、新たな世紀の到来とともに、3分野の複合領域である「情報生命科学」分野に、その持てる力を発揮し挑戦されようとしています。

最先端科学を常に追究する使命を課せられた高度な大学院大学として、新たな展開を図られることに對し、畏敬の念を持つとともに、その成功を確信しているところであります。

さて、科学技術を取り巻く情勢の変化は、予測のつかない程急激であり、また、国民の生活と福祉への貢献、産業経済社会の牽引役としての期待も、計り知れないものがあります。本年3月に策定された「第2期科学技術基本計画」においては、大学がその中心的役割を果たすことが求められています。

貴大学は、既に、それを目的に掲げ、実践してこられました。

県下においても、開かれた大学として、地域の知的環境への寄与、また、(財)奈良先端科学技術大学院大学支援財団と共に、産官学交流事業の展開など、地元産業界の技術革新・新産業創出に貢献いただいているところです。

今後とも、地元奈良県として、一層連携を深めたく存じますとともに、県としても更なる研鑽を重ねてまいりたいと考えているところです。

9年後、奈良県は、平城遷都1300年(西暦2010年)という大きな節目を迎えます。1300年前、我が国初の大規模な国際首都として栄え、また、当時の最先端技術を駆使して創建されたであろう平城京。その平城遷都1300年に向け、国際的な交流と貢献、未来に生きる新しい文化・芸術・技術の創造等の取り組みを進めています。

21世紀の最先端科学を担う貴大学への期待は大きいものがあります。今後、更なる前進を祈念いたしますとともに、その歩みを共有し、明日の奈良県を、創造してまいりたいものと切に願っています。